

横浜市認知症サポーター養成講座
開催の手引き



目次

I	認知症サポーターとは	
1	目的	・・・1
2	キャラバン・メイトとは	・・・1
3	自治体事務局	・・・2
4	認知症サポーター養成講座の概要	・・・3
5	使用教材について	・・・6
6	グッズについて	・・・9
II	関係様式集	・・・11
	（様式1）認知症サポーター養成講座 開催計画書	
	（様式2）認知症サポーター養成講座 開催報告書	
	（様式3）認知症サポーター養成講座 グッズ申込書	
	（様式4）メイト情報変更依頼書	
	（様式5）キャラバン・メイト 登録削除届	
III	付録	・・・19
	（1）オンラインによる認知症サポーター養成講座用の動画教材	

I 認知症サポーターとは

厚生労働省は、認知症に対する偏見や誤解をなくすとともに、認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、2005年から「認知症を知り地域をつくる10カ年」のキャンペーンを始めました。このキャンペーンのひとつに、**地域で暮らす認知症の人やその家族を見守る応援者である認知症サポーターを増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちになることを目指す「認知症サポーターキャラバン」事業**があります。

横浜市でも2005年から取組を始め、地域住民、小・中・高等学校の生徒、商店街や金融機関などの様々な方に認知症サポーターになっていただいています。

2019年（令和元年）6月「認知症施策推進大綱」では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪としてさまざまな施策を推進しています。私たちの認知症に対する更なる理解や社会全体での取組が求められています。

1 目的

正しい認知症に関する知識を持って、地域や職場で認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者（認知症サポーター）の養成を推進します。

2 キャラバン・メイトとは

認知症サポーターの育成にあたって、認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法等を地域住民に伝える講師役が「キャラバン・メイト」です。キャラバン・メイト養成研修修了者は、全国キャラバン・メイト連絡協議会が作成・管理する「キャラバン・メイト」名簿に登録されます。

キャラバン・メイトには、次のような役割が期待されています。

- (1) 地域住民を対象に自ら講座を開催します。
- (2) 地域住民や職域、学校等からの依頼により、認知症サポーター養成講座の講師を務めます。（直接依頼を受けるほか、事務局から依頼を行うこともあります。）
- (3) キャラバン・メイト本人の友人や家族・近隣等の身近な人に対し、ミニ学習会を開きます。

(4) 自らも、認知症サポーターとして、身近にいる認知症の人及びその家族への支援を行います。

- ・介護家族等への相談、助言
- ・相談場所や専門機関等の情報提供 等

(5) 留意事項

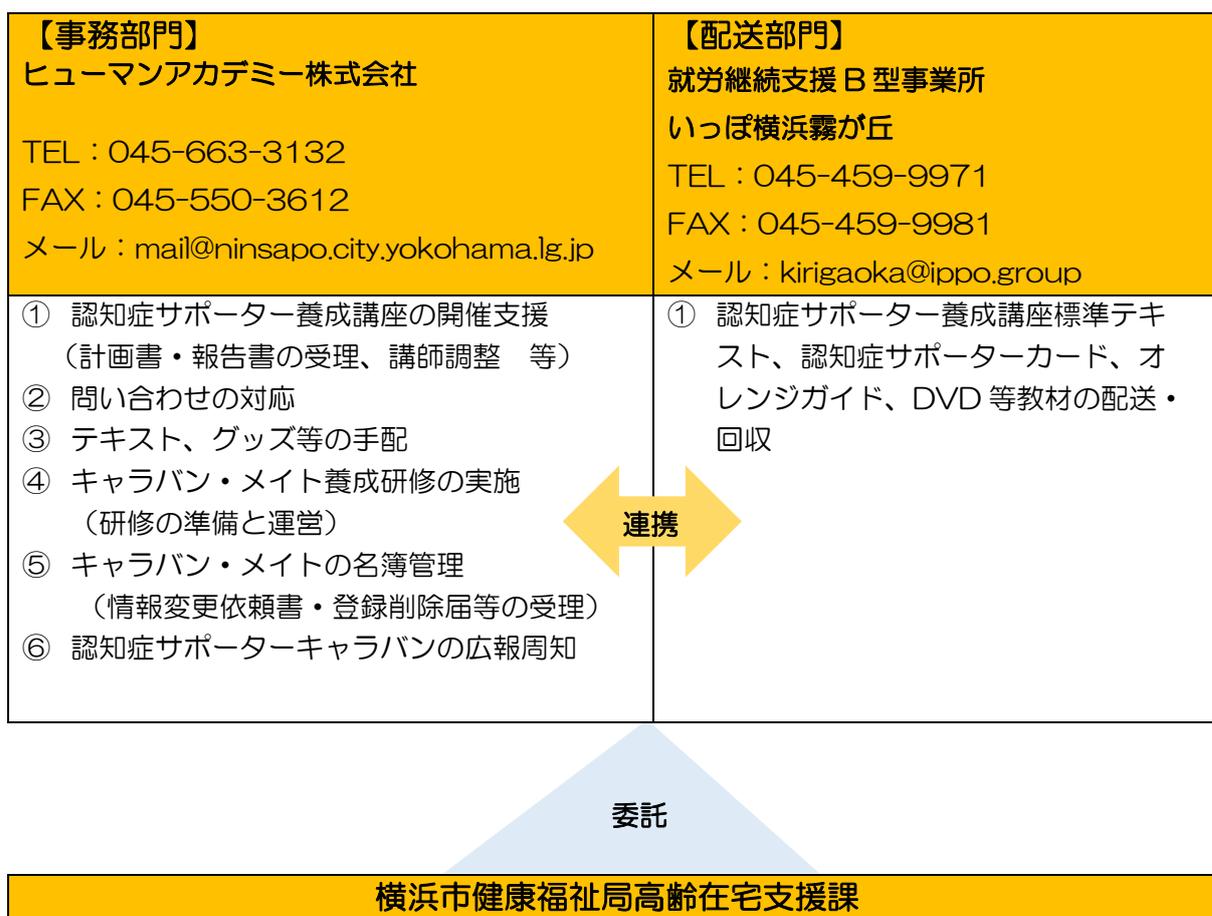
キャラバン・メイトが実施する「認知症サポーター養成講座」は、ボランティアの活動と位置づけていますので、受講にかかる費用は、原則無料で行ってください。また、年3回程度、講座の講師を務めるようお願いします

※全国キャラバン・メイト連絡協議会では、講座の講師を年10回程度務めるよう示しています。

3 自治体事務局

令和6年4月1日より、認知症サポーターキャラバン事務局は事務部門と配送部門に分かれ新体制でスタートします。

(全体像)



4 認知症サポーター養成講座の概要

- (1) 講座の主催
キャラバン・メイトが自ら主催するほか、区や地域包括支援センター、自治会や企業、学校などが主催者となり、講座を開催することができます。
- (2) 講師
キャラバン・メイト
- (3) 受講対象者
地域住民、職域、学校、団体・企業等の従事者など。
- (4) 講座開催の流れ

メールの場合

① 開催計画書・報告書の規定用紙をヒューマンアカデミー株式会社のHPよりダウンロードする

② 計画書に必要事項を入力する

③ 開催予定日 1 か月前までに計画書をヒューマンアカデミー株式会社宛にメールで送付する
メールアドレス：mail@ninsapo.city.yokohama.lg.jp
※メールの件名に「●月●日サポーター養成講座開催計画書」をつける

④ 講座開催後 2 週間以内に、報告書に必要事項を入力して、ヒューマンアカデミー株式会社宛にメールで送付する
※メールの件名に「●月●日サポーター養成講座開催報告書」をつける

⑤ 提出済みの計画書記載の内容に変更がある場合
メールタイトルを「●月●日開催予定講座の変更」とし、連絡する
メール本文に、計画書記載の以下 3 点を必ず明記する
(開催予定日時、受講対象者、会場)
その上で変更部分を連絡すれば、計画書の再提出は不要

⑥ テキストとサポーターカード、オレンジガイドの受取について
「5 使用教材について」の(3)受取方法・・・P7を参照

(5) 講座内容

基本カリキュラム(全国に共通)にそって対象者に合わせた内容により実施し、カリキュラムの時間配分はおおむね90分を目安とします。

基本となる内容	標準時間
●認知症サポーターキャラバンとは	15分
●認知症を理解する(1) 1 認知症とはどういうものか 2 認知症の症状 3 中核症状 症状1 記憶障害 症状2 見当識障害 症状3 理解・判断力の障害 症状4 実行機能障害 症状5 感情表現の変化 4 行動・心理症状(BPSD)とその支援 元気がなくなり、引っ込み思案になることがある 身の周りの事に支障が起こってくる 周辺の人が疲弊する精神症状 行動障害への理解	30分
●認知症を理解する(2) 5 認知症の診断・治療 早期発見、早期治療が大事なわけ 認知症の治療 認知症の経過と専門家との関係 成年後見制度/地域福祉権利擁護事業 6 認知症の予防についての考え方 7 認知症の人と接するときの心がまえ 8 認知症の介護をしている人の気持ちを理解する	30分
●認知症サポーターとは ●認知症サポーターのできること	15分

(計90分)

認知症サポーター養成講座を開催する際のワンポイントアドバイス



内容の構成

国が中心となり全国展開している事業であるため、基本的には認知症サポーター養成講座基本カリキュラムの内容に沿って実施します。受講対象者の特性に合わせて特徴のある内容を入れます。

ポイント

- 事前打合せで、カリキュラムで重点的に説明が必要な項目等について把握します。
- 自分たちも認知症になる可能性があり無関係ではないということを意識してもらいます。
- 関心の持てる内容で講座を展開します。
- 明日から役に立つような具体的なレベルの内容も取り入れます。
 - * 地域の情報（市内の取り組み等）や社会資源など
- 受講者が主体的に参加できる講座となるよう工夫します。
 - （具体例）
 - * 参加動機や認知症の方に接した経験など共有する時間をつくる
 - * DVDの悪い対応例を視聴後に望ましい対応を話し合う時間をつくる など

5 使用教材について

(1) テキスト・教材

講座で使用する教材は、「認知症サポーター養成講座標準テキスト 認知症を学びみんなで考える」を基本とし、認知症の相談窓口及び関連機関の情報として、オレンジガイドを無料配布します。

また、小・中学生用のテキストも講座開催に伴う必要数を無料配布します。なお、独自に作成した資料の使用も可能です。

使用教材	標準テキスト	小・中学校用テキスト
	オレンジガイド	配布資料(独自)
	オンライン動画配信教材 ※ID・パスワードを付与	キャンペーンDVD

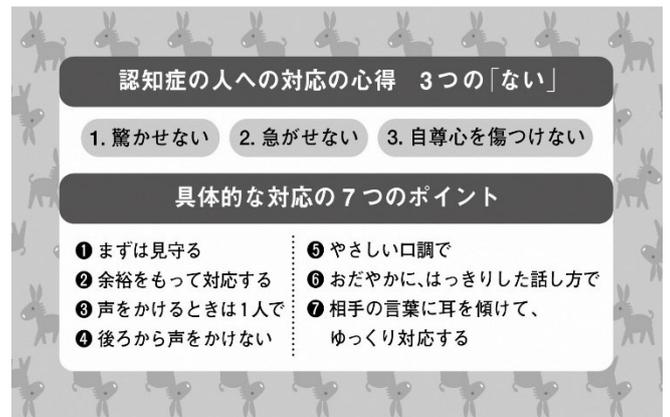
(2) 認知症サポーターカード

認知症サポーターカードは、初めて受講した方へ無料配布します。

(表)



(裏)



※講座を受講した証として、令和2年度まで「オレンジリング」を配付していましたが、令和3年4月から、実施主体ごとに作成する「認知症サポーターカード」を配付し、オレンジリングは有料となりました。

(3) 受取方法

テキストとオレンジガイド、また認知症サポーターの証である認知症サポーターカードをセットにして、計画書上の送付先に自治体事務局（いっぽ横浜霧が丘）より送付されます。

使用を希望されるDVD等教材の送付についても同様です。

※お住いの区役所でも受け取ることができます。

その際は、事前に自治体事務局（ヒューマンアカデミー株式会社）へ「計画書」を提出していることを区役所にお伝えください。

※主催が区役所・地域ケアプラザの場合は、区役所高齢・障害支援課でお受け取りください。

※小・中学生用のテキストとオレンジガイド、認知症サポーターカードはセットにして、自治体事務局（いっぽ横浜霧が丘）より送付します。

（注）区役所では受け取れません。

(4) オンライン動画配信と教材について

オンライン動画教材の使用については、全国キャラバン・メイト連絡協議会のホームページ「認知症サポーター養成講座（オンライン開催）動画教材のご案内」を参照願います。動画教材は付録も参照ください。

ホームページ：<https://www.caravanmate.com/news.html>



2021/08/04

事務局の方へ

「認知症サポーター養成講座（オンライン開催）動画教材」のご案内

当面は、新型コロナウイルス感染拡大防止と社会活動の維持の両立が求められるなか、認知症サポーター養成講座開催に際しては、地域ごとの感染状況を考慮しながら計画を立てていただいているかと存じます。

密とならないよう、1回の参加人数を少人数にする等の手立ても有効ですが、感染症対策としてオンラインで認知症サポーター養成講座を開催する場合の基準、今年度から活用していただけるようになった認知症サポーター養成講座用動画教材について、下記の通りご案内いたします。

[「オンライン」による「認知症サポーター養成講座」の基準](#)

[認知症サポーターキャラバン関連動画教材オンライン配信システムのご案内](#)

[認知症サポーターキャラバン オンライン動画教材利用ガイド](#)

【参考】

[認知症サポーター養成講座基準\(PDFファイル\)](#)

[基本カリキュラム\(PDFファイル\)](#)

[認知症サポーター養成講座カリキュラム及び時間配分について\(PDFファイル\)](#)

[認知症サポーター等養成事業の実施について\(PDFファイル\)](#)

老計発第0712001号厚生労働省老健局計画課長通知<令和2年3月27日一部改正>

6 グッズについて

グッズは1個からお申込みできます。※送料は別途かかります。
申込・受渡方法は(1)をご参照ください

<グッズ一覧>

品名	価格(税込)
オレンジリング Sサイズ	110円
オレンジリング Mサイズ	110円
オレンジリング Lサイズ	110円
スペシャルリング	660円
オレンジバッジ	143円
ピンバッジ(ロバ)	220円
ステッカー	220円
シール	220円
バッグ(ロバ隊長)	440円
ぬいぐるみ型紙	330円

(1) 申込・受渡方法

認知症サポーター養成講座「計画書」「報告書」「認知症サポーター養成講座グッズ申込書」は**エクセルBOOK**になっています。

「認知症サポーター養成講座グッズ申込書」を作成し、自治体事務局(ヒューマンアカデミー株式会社)へ提出してください。

申込書は自治体事務局または横浜市のホームページから取得できます。

◆横浜市のホームページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/koreisha-kaigo/ninchisyo/ninchi-torikumi/caravan.html>



◆自治体事務局（ヒューマンアカデミー株式会社）のホームページ

<https://ninsapo.city.yokohama.lg.jp>

◆お申し込みいただいたグッズ等は、全国キャラバン・メイト連絡協議会から直接ご指定いただいた住所に送付されます。

※送料は最低 1,430 円がかかります。商品の数量や組み合わせによって変わる場合があります。

※見積書、納品書、請求書はグッズに同封されて届きます。

横浜市用 認知症サポーター養成講座 開催計画書

※計画書は開催の一月前までに事務局へ提出してください(厳守)

計画No.		提出日	2024	年		月		日
全国No.		開催日	2024	年		月		日

○メイトは太枠内を記入

主催者名	担当者名				
	メイトID		神奈川- -		
	連絡先(TEL)				
	メール		@		
受講団体・グループ名			開催場所		
受講者分類	企業・職域団体	受講予定者数		開催区 <small>※実績に反映</small>	神奈川県
			人		
開催形式			HP公開可否 <small>(一般住民の参加が可能な場合は可を選択)</small>		
担当メイト	メイトID	メイト名		メイトID	メイト名
講座の構成	内容			時間配分	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
合計					0
使用教材	標準テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)		小学生用テキスト(オレンジガイド、認知症サポーターカード)	中学生用テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)	
	キャンペーンDVD		配布資料(独自)	オンライン動画配信教材	

※令和6年8月の講座より、テキストと相談窓口等が掲載されている「オレンジガイド」、認知症サポーターカードを配布

<使用教材等の受取方法> ※テキスト等の冊数は受講予定者数に合わせて準備します。
 ※講座終了後、余剰分は返却していただきます。
 ※テキストを各区高齢・障害支援課で受け取る場合は、事前に連絡をお願いします。

教材名	受取方法
標準テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)	主催が区役所・地域ケアプラザの場合は、区役所高齢・障害支援課でお受け取りください。
	上記以外は、プルダウンから選択してください→

小学生用テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)	配送部門より直送します。
中学生用テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)	

キャンペーンDVD	配送部門より直送します。
-----------	--------------

教材の送付先 (開催の1週間前までに送付)	
【住所】 〒	【TEL】
【宛名】	【FAX】

※HPへ公開可の方は、特に指定のない限り、上記連絡先を公開

横浜市キャラバン・メイト事務局: ヒューマンアカデミー株式会社
 TEL: 045-663-3132 FAX: 045-550-3612
 Eメール: mail@ninsapo.city.yokohama.lg.jp

横浜市用

認知症サポーター養成講座 開催計画書

※計画書は開催の1か月前までに事務局へ提出してください（厳守）

計画No.	1	提出日	2024	年	4	月	1	日
全国No	2	開催日	2024	年	5	月	1	日

○メイトは太枠内を記入

主催者名	横浜町内会		担当者名	横浜 太郎			
			メイトID	神奈川-〇△ -1234			
			連絡先(TEL)	045-000-△〇〇△			
			メール	12-〇〇△@city.yokohama.jp			
受講団体・グループ名	横浜町内会		開催場所	横浜自治会館			
受講者分類	企業・職域団体	受講予定者数		開催区 <small>※実績に反映</small>	鶴見区		
		10	人				
開催形式	対面式			HP公開可否 <small>(一般住民の参加が可能な場合は可を選択)</small>	可		
担当メイト	メイトID	メイト名		メイトID	メイト名		
	神奈川-2△-0001	横浜 花子					
	神奈川-2〇-0002	横浜 浜子					
講座の構成	内容			時間配分			
	認知症サポーターキャラバンとは？			9:00	～	9:30	30
	認知症を理解する①			9:30	～	9:45	15
	グループワーク「こんな時どうする？」			9:45	～	10:00	15
	認知症を理解する②			10:00	～	10:10	10
	身近な相談窓口			10:10	～	10:20	10
認知症サポーターとしてできること			10:20	～	10:30	10	
			合計			90	
使用教材	標準テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)	○	小学生用テキスト(オレンジガイド、認知症サポーターカード)	中学生用テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)			
	キャンペーンDVD		配布資料(独自)	オンライン動画配信教材			

※令和6年8月の講座より、テキストと相談窓口等が掲載されている「オレンジガイド」、認知症サポーターカードを配布

<使用教材等の受取方法> ※テキスト等の冊数は受講予定者数に合わせて準備します。

※講座終了後、余剰分は返却していただきます。

※テキストを各区高齢・障害支援課で受け取る場合は、事前に連絡をお願いします。

教材名	受取方法	
標準テキスト (オレンジガイド・認知症サポーターカード)	主催が区役所・地域ケアプラザの場合は、区役所高齢・障害支援課でお受け取りください。	
	上記以外は、プルダウンから選択してください→	区役所高齢・障害支援課へ取りに行く

小学生用テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)	配送部門より直送します。
中学生用テキスト (オレンジガイド、認知症サポーターカード)	

キャンペーンDVD	配送部門より直送します。
-----------	--------------

教材の送付先 (開催の1週間前までに送付)	
【住所】 〒20△-12△〇 横浜市鶴見区〇丁目△-1番地	【TEL】 045-000-△〇〇△
【宛名】 横浜 太郎	【FAX】 045-〇〇〇-△〇×△

※HPへ公開可の方は、特に指定のない限り、上記連絡先を公開

横浜市キャラバン・メイト事務局：ヒューマンアカデミー株式会社

TEL:045-663-3132 FAX:045-550-3612

Eメール: mail@ninsapo.city.yokohama.lg.jp

(様式2)

横浜市用

認知症サポーター養成講座 開催報告書

※報告書は講座終了後2週間以内(厳守)に事務局へ提出してください。

○メイトは太枠内を記入

計画No.	提出日	2024	年		月		日
全国No	開催日	2024	年		月		月

受講団体・グループ名								開催区	神奈川区
受講形式									
受講者分類	企業・職域団体					受講者数			人
受講対象者詳細									
年代内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計 (自動計算)	
女性	人	人	人	人	人	人	人	人	
男性	人	人	人	人	人	人	人	人	
合計 (自動計算)	人	人	人	人	人	人	人	人	
担当メイト	メイトID	メイト名			メイトID	メイト名			
講座の構成	内容				時間配分				
					～				
					～				
					～				
					～				
					～				
合計									

テキスト・認知症サポーターカード、オレンジガイド等 余剰分の返却先	計画書に指定した「受取方法」を確認し、同場所へ返却してください。
その他 (講座に関するコメント・備考)	

【注意事項】	報告書は必ず計画書と対応するように御記入下さい。記入内容に不備がある場合は、再度御記入をお願いする場合がございます。
--------	--

横浜市キャラバン・メイト事務局： ヒューマンアカデミー株式会社
 TEL:045-663-3132 FAX:045-550-3612
 Eメール: mail@ninsapo.city.yokohama.lg.jp

横浜市用

認知症サポーター養成講座 開催報告書

※報告書は講座終了後2週間以内(厳守)に事務局へ提出してください。

○メイトは太枠内を記入

計画No.	5	提出日	2024	年	5	月	10	日
全国No	4	開催日	2024	年	5	月	1	日

受講団体・グループ名	横浜町内会										開催区	神奈川区			
受講形式	対面式														
受講者分類	住民						受講者数	10			人				
受講対象者詳細	自治会、町内会、集合住宅管理組合 等														
年代内訳	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上		合計 (自動計算)
女性	0	人	0	人	0	人	2	人	0	人	2	人	1	人	5
男性	0	人	0	人	1	人	0	人	1	人	1	人	2	人	5
合計 (自動計算)	0	人	0	人	1	人	2	人	1	人	3	人	3	人	10
担当メイト	メイトID		メイト名				メイトID		メイト名						
	神奈川-2△-0001		横浜 花子												
	神奈川-2○-0002		横 浜子												
講座の構成	内容								時間配分						
	認知症サポーターキャラバンとは								9:00	～	9:30	30			
	認知症を理解する①								9:30	～	9:45	15			
	グループワーク「こんな時どうする？」								9:45	～	10:00	15			
	認知症を理解する②								10:00	～	10:10	10			
	身近な相談窓口								10:10	～	10:20	10			
認知症サポーターとしてできること								10:20	～	10:30	10				
合 計															90

テキスト・認知症サポーターカード、オレンジガイド等 余剰分の返却先	計画書に指定した「受取方法」を確認し、同場所へ返却してください。
その他 (講座に関するコメント・備考)	

【注意事項】	報告書は必ず計画書と対応するように御記入下さい。記入内容に不備がある場合は、再度御記入をお願いする場合がございます。
--------	--

横浜市キャラバン・メイト事務局： ヒューマンアカデミー株式会社
 TEL:045-663-3132 FAX:045-550-3612
 Eメール: mail@ninsapo.city.yokohama.lg.jp

メイト情報変更依頼書

(様式4)

神奈川 - 00 - 1234

氏名: 横浜 花子

変更が必要な項目のみ、「変更前」「変更後」の内容を記入し、下記自治体事務局へご提出ください。

【変更前】

氏名(名字)	
氏名(名前)	

【変更後】

所属自治体名 (都道府県)	
所属自治体名 (市区町村)	

郵便番号	
住 所	
TEL	
FAX	
Email	
所 属 (勤務先等)	
活 動 区 (横浜市独自) ※登録している活 動区に変更がある 場合に記入	

メイト登録情報の変更は、原則としてキャラバン・メイト本人のお申し出により、
現在(異動前)所属している自治体事務局を通して、全国キャラバン・メイト連絡協議会へ連絡します。
なお、異動先の自治体事務局への連絡は、全国キャラバン・メイト連絡協議会が行います。

自治体事務局
ヒューマンアカデミー株式会社
TEL: 045-663-3132
FAX: 045-550-3612
mail: mail@ninsapo.city.yokohama.lg.jp

メイト情報変更依頼書

記入例

神奈川 - 00 - 1234

氏名: 横浜 花子

変更が必要な項目のみ、「変更前」「変更後」の内容を記入し、下記自治体事務局へご提出ください。

【変更前】

氏名(名字)	横浜
氏名(名前)	花子

【変更後】

埼玉
花子

所属自治体名 (都道府県)	神奈川県
所属自治体名 (市区町村)	横浜市

〇〇県
〇〇市

郵便番号	231-0005
住所	横浜市中区本町6-50-10
TEL	
FAX	
Email	
所属 (勤務先等)	
活動区 (横浜市独自)	
※登録している活動区に変更がある場合に記入	

123-4567
新しい住所

メイト登録情報の変更は、原則としてキャラバン・メイト本人のお申し出により、
現在(異動前)所属している自治体事務局を通して、全国キャラバン・メイト連絡協議会へ連絡します。
なお、異動先の自治体事務局への連絡は、全国キャラバン・メイト連絡協議会が行います。

自治体事務局
ヒューマンアカデミー株式会社
TEL: 045-663-3132
FAX: 045-550-3612
mail:mail@ninsapo.city.yokohama.lg.jp

記載日: 年 月 日

キャラバン・メイト 登録削除届

全国キャラバン・メイト連絡協議会 御中

メイトID _____ - _____ - _____

氏名 _____ 印 _____

〈所属自治体記入欄〉

所属自治体名 (市区町村または都道府県名)	担当課	担当者名
横浜市	ヒューマンアカデミー 株式会社	

キャラバン・メイトとしての活動が困難となったため、下記を了承した上で登録削除について届け出をいたしますので、よろしくお取りはからいますようお願いいたします。

- ・今後いかなる理由があっても、再登録を希望いたしません。
- ・キャラバン・メイト養成研修を今後、再受講いたしません。

登録削除の理由	
サポーター講座開催回数 (登録時からの累計)	回

※キャラバン・メイト養成研修は「認知症サポーター養成講座を年間10回程度(最低実施数3回)、ボランティアの立場で行える」ことを前提に、受講していただいています。登録削除の理由については、この前提を踏まえて記載してください。

〈全国キャラバン・メイト連絡協議会記載欄〉

受理日: 年 月 日

Ⅲ 付録

「オンライン動画教材配信システム利用について」

1 動画教材の種類及び概要について

オンライン動画教材配信システムで視聴できる動画教材は下記のとおりです。

(1) 認知症サポーター養成講座関係

① 認知症サポーターキャラバン キャンペーンビデオ【約 15 分】

2021 年 1 月改訂版の DVD「認知症サポーターキャラバン」と同内容。

②『認知症サポーター養成講座標準教材・認知症を学び地域で支えよう』準拠の 動画教材【約 50 分】

標準教材の「第 1 章 認知症を理解する」の内容を網羅し、図解のスライドを用いた講義動画。キャラバン・メイトによるオンラインでの認知症サポーター養成講座において、認知症の基礎知識（基本カリキュラム「認知症を理解する(1)(2)」に対応）の講義パートを動画視聴をもって行うことができる。

※認知症サポーター養成講座での活用のほか、ステップアップ講座において認知症の基礎知識の復習用に活用することもできる。

③『認知症ってなあに？』（アニメーション動画）【約 15 分】

『認知症サポーター養成講座小学生副読本』に準拠した内容。小学生の義人と翔子の兄妹が 30 年後の未来からやってきた謎の中学生、来人とともに認知症の基礎知識、対応のポイントや認知症サポーターについて学んでいく。

※小学生を対象とする認知症サポーター養成講座において、カリキュラムの一部として活用することができる。

※中学生以上を対象とする認知症サポーター養成講座で認知症の基本的理解の補足として使用する、ステップアップ講座において認知症学習の復習用に用いることも考えられる。

※『認知症ってなあに？』（アニメーション動画）については、DVD 版を有料でお分けすることができます（価格：1,650 円・税込み）。

④ 企業・職域向け認知症サポーター養成講座 事例編【各事例約 7～9 分】

- ・金融機関編（ATM 操作が困難に、窓口・店頭での対応、口座残高についての苦情）
- ・スーパーマーケット編（売り場での対応、レジでの支払い、店舗内で行方不明に、同じ商品を何度も購入）
- ・交通機関編（鉄道の自動改札で、バスの終点停留所で、夜間のタクシー乗務中に）
- ・マンション管理編（共用廊下にて、水漏れの原因は…）
- ・訪問業務編（集金業務で、約束の日時に訪問したら…）
- ・ビジネスマン編（ランチタイムの相席で）

※各事例とも、1.認知症の人への接し方（解説）→2.悪い対応事例（事例）→3.望ましい対応事例（事例）→4.接し方のアドバイス（解説）で構成。

※【活用例】事例映像を題材に「悪い対応」「望ましい対応」のポイントについてキャラバン・メイトが補足講義を行う、または自分たちであればどのような対応をするかを検討・グループ討議をするなどにより発表。

※「ビジネスマン編」を除く 5 種類は事例 DVD（自治体等事務局へ平成 30 年 4 月に送付）と同内容。

横浜市健康福祉局 高齢健康福祉部 高齢在宅支援課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
横浜市庁舎16階

電話：045-671-4129

FAX：045-550-3612

e-mail：'kf-zaitakude@city.yokohama.jp'

令和3年11月1日作成

令和6年3月1日改訂